



JAL不当解雇撤回ニュース

No.283 号 2013.06.04
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

裁判所は、憲法を十二分に活用し 首切りの横行に、法のブレーキを！

裁判所の不当判決が続く中、「首切り自由を容認する司法反動は許さない」という一点で、去る 5 月 15 日、「霞が関大行動」が行われました。裁判所の包囲行動には 700 名が参加しましたが、裁判所への請願行動でも、2300 通を超える請願書が提出されました。嘆願書を提出した一人の女性が、筆で書かれた嘆願書の写しを原告に届けて下さいましたので紹介致します。(題字は事務局作成)

大竹たかし裁判長殿

謹啓

客室乗務員裁判の件で上告致します。

5 月 3 日憲法記念日には、毎年 9 条書写をいたしておりますが、今年憲法改定の手続法の変更が話題になっており、9 条だけでなく、いろいろな条文を書いてみよう、前文・9・11・13・14・19・20・21・24・25・96・97・99 と、目に止まった条文を書写致しました。

以前から心にかけておりました日本航空の不当解雇、労働者の使い捨ては、その企業のみか国力の減少をもたらすと考えておりましたが、4 月 25 日号の救援新聞で読んだばかり。

この書写している憲法が十全に機能していれば救済されるはずと意を強くしました。

この新聞に書かれているように、交通を支える方たちが、評価を恐れて、病気を押して乗務なさるようなことになれば、私共利用者も不利益を蒙ることとなります。

実際私事でございますが、日航の労働問題がおこりました頃、沖縄に参る用事があり用意されたキップが JAL の為、遺書を記して出掛けたことを思い出します。

国民を権力から守る憲法を十二分に活用されまして、不必要な首切りの横行に法のブレーキをおかけ下さいますようお願い申し上げます。

敬具

5 月 3 日

謹啓

客室乗務員裁判の件で上告いたしました
五月三日憲法記念日には毎年九条書きを
いりてありましたが今年憲法改定の手続
法の変更が話題となつてあり、九条だけでなく
いくつな条文を書きかへようとして、前文・九・
十一・十三・十四・十九・二十・二十四・二十五・
九十六・九十七・九十九と、眼についた条文と
書きかへようとした。

以前から心にわけてありましたが日本航空の不当
解雇、労働者の使ひ捨てはその企業のみならず
国力の減少ともなり得ることを考へてありましたが
四月二十五日の救援新聞を読んだばかり
この書きかへる憲法が十全に残れれば
救済される筈と意を強くいりました。

この新聞に書かれていたように交通を支
える方ばかり評価をされて病気を押さ
乗務員ももうなまけたらば和共
利用者も不利益を蒙ることもありまた
実際和事でもいいますが、日航の労働
問題があまりに深刻な沖縄に及ぶ
用事があり用意されたギャップがJALの局
遺書と評して生掛けたと思ひま
す。

国民と権力や護る憲法とを十分に
活用しなくては不足な誠意の横行に
法のブレーキをあけたりします。お願い
申し上げます。

五月三日

敬具

大竹たけ 裁判長殿